校長室だより

「ハッピー通信R5」39号　令和6年2月21日

地域の方や先輩からのプレゼントに感謝

兼次小学校の卒業生や地域の方からプレゼントをいただきましたので紹介します。
大城光太さん（2年生あさひさんのお父さん）からエレクトーンを
仲尾次郁子さん（1年生さなさんのおばあちゃん）からひなかざりを
仲宗根栄一さん（仲尾次出身の先輩）から図書購入費を
大城勝さん（2年生すずさん、4年生はるさんのおじいちゃん）から図書購入費を
仲本幸文さん（今泊出身の仲本幸智さんの息子さん）から図書購入費を
島袋剛さん（兼次小学校前校長）から図書購入費をいただきました。
また、やぎさんのえさも地域の方が差し入れてくれています。
みなさまに支えられ、楽しく充実した学校生活を送っています。心より感謝申し上げます。

江中さんのおばあちゃん、仲村清光先生、
いつもおいしいごはん「ごちそうさま～」

2月18日の琉球新報です

児童が村の産業学ぶ
今帰仁・兼次小で黒糖作り

【今帰仁】昔ながらの「くるざーたー（黒糖）づくり」が2日、兼次小学校中庭で行われた＝写真。同区の玉城清一兼次区長と地域住民が指導した。

サトウキビは3年前に校内で植え、太く大きく育ち前日に刈り取った。玉城区長の畑から刈り取った物も加えた。絞り機2機で絞り、まきで火をおこし、その絞り汁を二つの大鍋でゆっくりとかき混ぜながら、煮詰めて凝縮した。最後は型に入れ固めて、昔ながらの作り方で黒糖を完成させた。

試食で児童らは「砂糖の味がする」「甘く黒糖味がする」など声を弾ませていた。

上間久仁校長は「地域の方の協力で、子どもたちが村の産業でもあるサトウキビを収穫し、協力して黒糖を作ることができた。大成功だった。児童は直接サトウキビをかじったり、まきを燃やしたりと、とても貴重で思い出に残る体験ができた」と目を細めた。（新城孝博通信員）